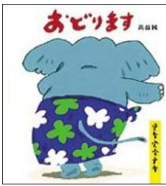


0歳児クラス 7月 第3回 「おどります」



保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保:「メケメケフラフラ♪ メケメケフラフラ♪」ブタのペープサート登場。 講:「こんにちはブタさん、楽しそうだね」 保:「さあ!みんなんで楽しく踊りましょう」 講:「メケメケフラフラ♪ メケメケフラフラ♪」等で、お話を始める。 	教材	
	読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①動物の名前や特徴に触れながらリズムを楽しむ。 ②ペープサートを子ども達に持たせて全身を使って踊りを楽しむ。 	



がくしゅうタイム

活動①	巧緻性	ブタに目シールを先生と一緒に貼り「メケメケフラフラ」に合わせカードと一緒に踊りを楽しむことができる		
設問	ブタカードに目を貼り「メケメケ フラフラ♪ メケメケ フラフラ♪」に合わせ身体を動かしましょう			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保:「メケメケフラフラ♪メケメケフラフラ♪」提示用ブタカード(目付き)登場。(事前に目付きブタカードを作成する) 講:「こんにちは」ブタカードを受け取り「メケメケフラフラ♪メケメケフラフラ♪上手だね」「なんだかクシャミが出そう…はつくしよん」で裏返す。(目付きカードの裏に目無しカードを貼っておく) 講:「あら大変!目が無くなっちゃった」等で、提示用目シールを貼る見本を見せる。 講:「私達も踊りたいよ」ブタカード提示。 「みんなもやってみよう」子ども達にカードを渡す。渡す際に目が見えないので、ぶつかったり、ヨロヨロしながら渡すのも楽しい。 目が無いことを確認したら、目シールを配り、貼っていく。 シールのゴミは、お皿の中に捨てる。※月齢の低い場合は、保育士の指に貼り、そこからつまんで取ってもよい。 「さあ皆で踊りましょう」等、楽しい雰囲気、「メケメケフラフラ♪メケメケフラフラ♪」やエレピの音楽に合わせてブタカードと子ども達が楽しくリズムに合わせて踊る。 講師や保育士が子ども達の手をとり一緒に楽しむ。 十分楽しめたら称賛をし、「いっぱい踊ったから眠くなっちゃった…」「先生の手ベットのにおやすみなさい」等で、集めるのも良い。 	教材	提示用ブタカード 提示用目シール ブタカード 目シール 皿(ゴミ用)	
活動内容			保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ブタカード登場 ブタカード配布 目シール配布 言葉掛けをする ブタカードで遊ぶ エレピを弾く 称賛する カードを集める
活動②	感覚	えんどうまめで楽しむことができる		
設問	五感を使ってえんどうまめでたくさん遊びましょう			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講:「今日も美味しいえんどうまめ持ってきましたよ」等でえんどうまめを提示する。(豆をさやの中から見えるようにセットしておく) 講:「お豆が皆と遊びたいみただよ、出してあげよう」等で指先で引っ張り出す。 豆を1つずつ色を言いながら出し3つ出せたら揺らして見せる。 講:「皆もお豆と遊ぼうね」等で子ども達にもえんどうまめを「〇〇ちゃんどうぞ」「お豆出せるかな」等ことばを掛けて手渡す。 自分で中の豆を出すことは難しい子もいるので、積極的に講師や保育士と一緒に遊んで見せる。 全員が豆を出せたらゆらゆら揺らす。 たくさん遊べたら、称賛し「冷蔵庫にしまっておくね」等でえんどうまめをカゴ等に集めて終了する。 ※今回は最後になります。担任にお渡しください。 	教材	布教材(えんどうまめ)	
活動内容			保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> えんどうまめを渡す 言葉掛けをする えんどうまめで一緒に遊ぶ 称賛する えんどうまめを集める

活動内容	言葉カード	内容 海の生き物 (イカ・タコ・カメ・イルカ・サメ・クマノミ)	教材 海の生き物カード(6種) 言葉カード台紙 海カード (海) 言葉カードCD ★CDデッキ
	<p>・講：「今日は海からたくさんお友達が遊びに来てるよ！皆で見てみよう」 CD をスタートさせ歌に合わせて海の生き物カードを見せる。</p> <p>♪海の物、海の物、最初に来るのは誰でしょう、ランランランランラララ〇〇〇 ♪海の物、海の物、次 に来るのは誰でしょう、ランランランランラララ〇〇〇 ♪海の物、海の物、最後に来るのは誰でしょう、ランランランランラララ〇〇〇</p> <p>・海カードを袋に貼った中や、？ボックス中に海の生き物カードを入れるなどして工夫して魚カードを見せる。 ・子どもの集中度によってカードの枚数を調整する。 ・間奏の間に名称や特徴の言葉を添えながら進行する。 ・最後まで見ることが出来るようであれば6枚のカードを使用する。</p>		保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> 一緒に歌う 「足が何本かな」「かわいいね」「〇色だね」「強そうだね」「ザブーン」など、言葉を添える 台紙にカードを貼る

活動内容	手遊び	内容 『さかながはねて』	教材 手遊びCD ★CDデッキ Dropbox 動画&別紙
	<p>・保育士達が楽しく歌って手遊びを見せる。子どもも一緒に手を動かせるように簡単な動作は子どもの手を取り一緒に行う。(動作は別紙&Dropbox 動画を参照)</p>		保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの手を取り一緒に歌う

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	ペープサートを活用しリズムを楽しんで表現できたか
活動①巧緻性	シールの感覚を楽しむことができたか
活動②感覚	両手を使って触れることができたか
言葉カード(海の生き物)	興味を持って見たり触ったりできたか
手遊び(さかながはねて)	クラス全体で楽しむことが出来たか

楽習タイム♪

*** テーマ・レッツダンス ***

1. リズムに合わせて体を動かしたり、学習タイムで使ったぶたカードを楽しく揺らしてみよう。
2. 好きな歌に合わせたり、音楽をかけても良いですね。
3. 大人も一緒に、にこにこ笑顔で楽しみましょう



リズム感は音楽だけとは限りません。運動や学習にも必要な力となりますよ。



楽習タイムの動画はこちら

